

住みよい千葉市へ 市民の声にこたえる予算に

普通教室の
エアコン設置をただちに
国保料の引き下げを



千葉県にカジノはいらない



千葉県議会第1回定例会は2月17日から3月15日まで開かれ、総額9,093億円の予算案を審査しました。日本共産党市議団は、熊谷市政8年間の大型開発優先・福祉カットを批判し、市民生活・福祉優先の予算にするよう求めました。

熊谷市政8年間は 何だったか

財政危機を理由に福祉カット

新年度予算では、がん検診カットや国保料値上げで福祉が後退、熊谷市政2期8年間に88歳祝い金廃止や保育料値上げなど271件、223億円をカットし、市民生活を苦しめています。

大型開発に多額の予算投入

千葉駅西口再開発や、蘇我特定地区整備に続き、千葉駅周辺開発などに多額の投資が計画されています。熊谷市長8年間の大型開発は264億円におよんでいます。

市長を変えて 暮らしの願い最優先に

福祉の増進が地方自治の本旨 大型開発を抑制し財源を確保する

市民生活を犠牲にする財政健全化を中止して、大型開発を抑制すれば財源は確保できます。市民生活優先、市民に優しい市政を実現しましょう。

予算組み替え動議を提案

日本共産党市議団は、88歳祝い金復活、国保料引き下げ、小中学校普通教室へのエアコン設置、公民館の民間委託中止など、予算の組み替えを求めました。

大型開発 264億円

蘇我スポーツ公園など
千葉港整備
千葉駅東口再開発
千葉駅西口再開発
房総導水路・霞ヶ浦導
水事業負担金

市民サービス 福祉の削減など 223億円

難病見舞金廃止など
福祉カット 30億円
公共料金改定
114億5千万円
国保会計への
繰り入れカット
27億6千万円
家庭ごみ有料化
51億1千万円 など

安倍政権の暴走に立ち向かい、 暮らしをまもる市政をつくる

国にモノを言わない市長で 良いのでしょうか？

アベノミクスで社会保障は削られ、雇用の破壊などで国民生活は疲弊し、千葉市民も生活苦を強いられています。さらに憲法違反の「戦争法＝安保法制」の強行で平和がおびやかされています。

暴走を続ける安倍政権に対して、熊谷市長は「国の動向を注視する」と市民の不安にこたえようとしない態度をつづけています。

安倍政権に毅然と立ち向かい、暴走政治の防波堤となり、市民生活と平和を守る市政に変えましょう。



「暮らしに寄りそう市長であってほしい」と、市民は願っています

日本共産党千葉市議団
ちば市議会だより

2017年
4・5月号
No.162

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
TEL(245)5484 FAX(245)5585
メールアドレス chibasigidan@nifty.com
ホームページ 「日本共産党千葉市議団」で検索

ご意見・ご要望を
お寄せ下さい

お読み下さい
しんぶん 赤旗
日刊3,497円/日曜版823円